



平成 26 年 12 月 12 日

各 位

会社名 オカモト株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡本 良幸
(コード番号 5122 東証第 1 部)
問合せ先 取締役総務部長 有坂 衛
(TEL. 03-3817-4121)

(訂正)「平成 24 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、平成 26 年 10 月 30 日付適時開示「不適切な会計処理の判明について」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 24 年 2 月 6 日付「平成 24 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には__を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場会社名 オカモト株式会社 上場取引所 東
コード番号 5122 URL <http://www.okamoto-inc.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡本 良幸
問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)高島 寛 (TEL)03-3817-4121
四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	51,870	1.9	2,373	△23.2	2,754	△10.3	1,643	△15.6
23年3月期第3四半期	50,891	3.8	3,089	△14.0	3,069	△21.4	1,948	△19.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 562百万円(△57.7%) 23年3月期第3四半期 1,328百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	15.41	—
23年3月期第3四半期	17.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	66,824	37,482	56.1
23年3月期	67,941	38,606	56.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 37,482百万円 23年3月期 38,606百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
24年3月期	—	3.75	—		
24年3月期(予想)				3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,000	2.9	2,500	△9.7	2,900	3.3	1,600	7.9	14.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	111,996,839株	23年3月期	111,996,839株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	6,703,300株	23年3月期	3,877,979株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	106,671,480株	23年3月期3Q	110,262,353株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
<u>2. サマリー情報(その他)に関する事項</u>	<u>P. 4</u>
<u>(1) 追加情報</u>	<u>P. 4</u>
<u>3. 四半期連結財務諸表</u>	<u>P. 5</u>
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(4) セグメント情報等	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9
(6) 重要な後発事象	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から徐々に回復の兆しが見られたものの、欧州の政府債務危機による景気の下振れや長引く円高の進行で、依然として企業収益への影響が懸念され、先行きには不透明感が漂っております。

このような状況下で当社グループは、国内での営業力の更なる強化に努め、製造コストと営業経費の削減や新商品の開発に取り組んでまいりましたが、タイの洪水による生産の一部稼働停止の影響及び原材料価格の上昇などにより一層のコストアップとなりました。

結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は518億70百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益は23億73百万円(前年同期比23.2%減)、経常利益は27億54百万円(前年同期比10.3%減)、四半期純利益は16億43百万円(前年同期比15.6%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 産業用製品

一般フィルムは、期初より文具・手帳用や養生用の受注が堅調に推移したことにより売上増となりました。農業用フィルムは、台風水害等による需要の増加により売上増となりました。壁紙は、住宅着工件数が回復し、またリフォーム需要も増加したことにより売上増となりました。フレキシブルコンテナは、需要先の生産調整を受け出荷量が減少したため売上減となりました。自動車内装材は、震災の影響から生産が一時持ち直したものの、タイの洪水により再び自動車メーカーが減産となり、円高の影響も大きく売上減となりました。粘着テープは、原材料等の高騰により、コストアップの厳しい環境のなか、営業努力により堅調に推移しました。工業テープは、スマートフォン関連の新規受注が寄与し売上増となりました。食品用包装ラップ等は、外食産業が低迷したことにより売上減となりました。食品保存用ピチット製品は、東北地方を中心に需要が減少したことにより売上減となりました。

以上により、当セグメントの売上高は288億43百万円(前年同期比2.3%減)、セグメント利益は12億46百万円(前年同期比40.0%減)となりました。

② 生活用品

コンドームは、少子高齢化や晩婚化の影響により市場が縮小するなか、薄物の需要が好調に推移したことにより売上微増となりました。除湿剤は、震災の影響で春先に出荷が減少しましたが、その後回復し売上増となりました。滅菌器は、販売数量の下落傾向が続いていましたが、買替え需要の回復により堅調に推移しました。手袋は、医療用・原発用を中心に受注が堅調に推移しました。シューズは、原材料高の影響を受けたものの、販売が堅調だったことから売上増となりました。ブーツ・雨衣類は、拡販政策を積極的に展開して売場を広げ、また台風や降雪の影響もあり売上増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は230億26百万円(前年同期比7.7%増)、セグメント利益は21億10百万円(前年同期比2.6%減)となりました。

③ その他

当セグメントの売上高は0百万円(前年同期比53.2%減)、セグメント利益は1億12百万円(前年同期はセグメント損失4百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は668億24百万円で、前連結会計年度末と比べ11億16百万円減少しております。

流動資産は420億円で、前連結会計年度末と比べ15億79百万円の増加となりました。これは主として、たな卸資産全体で15億51百万円、受取手形及び売掛金21億68百万円が増加し、現金及び預金18億29百万円、その他3億10百万円が減少したことによるものです。

固定資産は248億23百万円で、前連結会計年度末と比べ26億96百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産7億53百万円、投資有価証券19億41百万円が減少したことによるものです。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における総負債は293億41百万円で、前連結会計年度末と比べ6百万円増加しております。

流動負債は246億3百万円で、前連結会計年度末と比べ34億3百万円の増加となりました。これは主として、支払手形及び買掛金16億70百万円、1年内償還予定の社債15億円、1年内返済予定の長期借入金10億円が増加し、賞与引当金3億65百万円、その他3億円が減少したことによるものです。

固定負債は47億38百万円で、前連結会計年度末と比べ33億96百万円減少しております。これは主として、退職給付引当金が2億57百万円増加し、社債15億円、長期借入金10億円、その他11億54百万円が減少したことによるものです。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は374億82百万円で、前連結会計年度末と比べ11億23百万円減少しております。これは主として、利益剰余金8億43百万円、自己株式8億85百万円が増加し、その他有価証券評価差額金が8億91百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

タイ王国での大規模洪水による被害額及び当社業績への影響は損害保険等が付されていること及び被害の詳細は引き続き確認作業を行っていることから、現段階で合理的に算定することが困難であるため、平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月12日公表の業績予想を据え置くことといたします。

今後業績への重大な影響が見込まれる場合には、速やかに開示してまいります。また、今後の復旧予定に関しては平成24年1月24日に別途開示しております「タイの洪水に関するお知らせ(第2報)」をご参照下さい。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 追加情報

(不適切な会計処理について)

当社静岡工場において、不適切な会計処理が判明したことから、外部の専門家で構成される第三者委員会を設置し調査を進めてまいりました。

その結果、過去に行われた取引の一部に関して不適切な会計処理が確認されました。

(訂正報告書の提出について)

当社の不適切な会計処理について、当社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき過去に提出いたしました四半期報告書に記載されている四半期連結財務諸表に含まれる不適切な会計処理を訂正し、四半期報告書の訂正報告書を提出することを決定しました。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,903	8,074
受取手形及び売掛金	20,593	22,761
商品及び製品	5,736	<u>6,982</u>
仕掛品	1,211	<u>1,362</u>
原材料及び貯蔵品	1,463	<u>1,617</u>
その他	1,538	<u>1,227</u>
貸倒引当金	△24	<u>△25</u>
流動資産合計	<u>40,421</u>	<u>42,000</u>
固定資産		
有形固定資産	15,710	14,956
無形固定資産	383	313
投資その他の資産		
投資有価証券	10,645	8,704
その他	803	871
貸倒引当金	△22	<u>△23</u>
投資その他の資産合計	<u>11,426</u>	<u>9,553</u>
固定資産合計	<u>27,520</u>	<u>24,823</u>
資産合計	<u>67,941</u>	<u>66,824</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,607	17,278
1年内償還予定の社債	—	1,500
短期借入金	1,056	1,009
1年内返済予定の長期借入金	—	1,000
未払法人税等	471	418
賞与引当金	739	373
その他	3,325	3,023
流動負債合計	21,199	24,603
固定負債		
社債	1,500	—
長期借入金	1,000	—
退職給付引当金	3,215	3,473
その他	2,420	1,265
固定負債合計	8,135	4,738
負債合計	29,335	29,341
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,047	13,047
資本剰余金	422	422
利益剰余金	23,961	24,804
自己株式	△1,424	△2,310
株主資本合計	36,006	35,964
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,204	2,312
繰延ヘッジ損益	10	△3
為替換算調整勘定	△614	△790
その他の包括利益累計額合計	2,600	1,518
純資産合計	38,606	37,482
負債純資産合計	67,941	66,824

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	50,891	51,870
売上原価	37,903	39,928
売上総利益	12,987	11,941
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	2,355	2,299
その他の販売費	2,165	2,102
給料及び賞与	2,346	2,236
賞与引当金繰入額	387	348
退職給付引当金繰入額	117	121
貸倒引当金繰入額	—	3
その他の一般管理費	2,524	2,455
販売費及び一般管理費合計	9,898	9,568
営業利益	3,089	2,373
営業外収益		
受取利息	10	7
受取配当金	271	303
不動産賃貸料	306	362
負ののれん償却額	10	—
その他	117	153
営業外収益合計	716	826
営業外費用		
支払利息	50	47
不動産賃貸費用	136	125
為替差損	497	213
その他	51	59
営業外費用合計	736	445
経常利益	3,069	2,754
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	3	40
貸倒引当金戻入額	19	—
特別利益合計	22	40
特別損失		
固定資産除却損	59	5
減損損失	—	26
投資有価証券売却損	—	21
災害による損失	—	12
環境対策費	—	44
特別損失合計	59	111
税金等調整前四半期純利益	3,033	2,684
法人税、住民税及び事業税	875	708
法人税等調整額	208	331
法人税等合計	1,084	1,040
少数株主損益調整前四半期純利益	1,948	1,643
四半期純利益	1,948	1,643

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,948	<u>1,643</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△413	△893
繰延ヘッジ損益	△27	△13
為替換算調整勘定	△177	△175
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	1
その他の包括利益合計	<u>△620</u>	<u>△1,081</u>
四半期包括利益	<u>1,328</u>	<u>562</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,328	<u>562</u>
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	29,507	21,382	50,890	0	50,891	—	50,891
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9	614	624	2,278	2,902	△2,902	—
計	29,517	21,997	51,514	2,278	53,793	△2,902	50,891
セグメント利益又は損失(△)	2,076	2,166	4,242	△4	4,237	△1,148	3,089

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,148百万円には、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,159百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,843	23,026	51,870	0	51,870	—	51,870
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	205	220	2,451	2,672	△2,672	—
計	28,858	23,232	52,090	2,452	54,542	△2,672	51,870
セグメント利益	<u>1,246</u>	2,110	<u>3,356</u>	112	<u>3,469</u>	△1,095	<u>2,373</u>

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,095万円には、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,107百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

(訂正前)



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場会社名 オカモト株式会社 上場取引所 東
コード番号 5122 URL <http://www.okamoto-inc.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡本 良幸
問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)高島 寛 (TEL)03-3817-4121
四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	51,870	1.9	2,423	△21.6	2,804	△8.7	1,673	△14.1
23年3月期第3四半期	50,891	3.8	3,089	△14.0	3,069	△21.4	1,948	△19.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 591百万円(△55.4%) 23年3月期第3四半期 1,328百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	15.69	—
23年3月期第3四半期	17.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	66,854	37,512	56.1
23年3月期	67,941	38,606	56.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 37,512百万円 23年3月期 38,606百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
24年3月期	—	3.75	—		
24年3月期(予想)				3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,000	2.9	2,500	△9.7	2,900	3.3	1,600	7.9	14.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	111,996,839株	23年3月期	111,996,839株
24年3月期3Q	6,703,300株	23年3月期	3,877,979株
24年3月期3Q	106,671,480株	23年3月期3Q	110,262,353株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
<u>2. 四半期連結財務諸表</u>	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	P. 6
四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報等	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8
(6) 重要な後発事象	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から徐々に回復の兆しが見られたものの、欧州の政府債務危機による景気の下振れや長引く円高の進行で、依然として企業収益への影響が懸念され、先行きには不透明感が漂っております。

このような状況下で当社グループは、国内での営業力の更なる強化に努め、製造コストと営業経費の削減や新商品の開発に取り組んでまいりましたが、タイの洪水による生産の一部稼働停止の影響及び原材料価格の上昇などにより一層のコストアップとなりました。

結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は518億70百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益は24億23百万円(前年同期比21.6%減)、経常利益は28億4百万円(前年同期比8.7%減)、四半期純利益は16億73百万円(前年同期比14.1%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 産業用製品

一般フィルムは、期初より文具・手帳用や養生用の受注が堅調に推移したことにより売上増となりました。農業用フィルムは、台風水害等による需要の増加により売上増となりました。壁紙は、住宅着工件数が回復し、またリフォーム需要も増加したことにより売上増となりました。フレキシブルコンテナは、需要先の生産調整を受け出荷量が減少したため売上減となりました。自動車内装材は、震災の影響から生産が一時持ち直したものの、タイの洪水により再び自動車メーカーが減産となり、円高の影響も大きく売上減となりました。粘着テープは、原材料等の高騰により、コストアップの厳しい環境のなか、営業努力により堅調に推移しました。工業テープは、スマートフォン関連の新規受注が寄与し売上増となりました。食品用包装ラップ等は、外食産業が低迷したことにより売上減となりました。食品保存用ピチット製品は、東北地方を中心に需要が減少したことにより売上減となりました。

以上により、当セグメントの売上高は288億43百万円(前年同期比2.3%減)、セグメント利益は12億95百万円(前年同期比37.6%減)となりました。

② 生活用品

コンドームは、少子高齢化や晩婚化の影響により市場が縮小するなか、薄物の需要が好調に推移したことにより売上微増となりました。除湿剤は、震災の影響で春先に出荷が減少しましたが、その後回復し売上増となりました。滅菌器は、販売数量の下落傾向が続いていましたが、買替え需要の回復により堅調に推移しました。手袋は、医療用・原発用を中心に受注が堅調に推移しました。シューズは、原材料高の影響を受けたものの、販売が堅調だったことから売上増となりました。ブーツ・雨衣類は、拡販政策を積極的に展開して売場を広げ、また台風や降雪の影響もあり売上増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は230億26百万円(前年同期比7.7%増)、セグメント利益は21億10百万円(前年同期比2.6%減)となりました。

③ その他

当セグメントの売上高は0百万円(前年同期比53.2%減)、セグメント利益は1億12百万円(前年同期はセグメント損失4百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は668億54百万円で、前連結会計年度末と比べ10億87百万円減少しております。

流動資産は420億30百万円で、前連結会計年度末と比べ16億9百万円の増加となりました。これは主として、たな卸資産全体で16億1百万円、受取手形及び売掛金21億68百万円が増加し、現金及び預金18億29百万円、その他3億30百万円が減少したことによるものです。

固定資産は248億23百万円で、前連結会計年度末と比べ26億96百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産7億53百万円、投資有価証券19億41百万円が減少したことによるものです。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における総負債は293億41百万円で、前連結会計年度末と比べ6百万円増加しております。

流動負債は246億3百万円で、前連結会計年度末と比べ34億3百万円の増加となりました。これは主として、支払手形及び買掛金16億70百万円、1年内償還予定の社債15億円、1年内返済予定の長期借入金10億円が増加し、賞与引当金3億65百万円、その他3億円が減少したことによるものです。

固定負債は47億38百万円で、前連結会計年度末と比べ33億96百万円減少しております。これは主として、退職給付引当金が2億57百万円増加し、社債15億円、長期借入金10億円、その他11億54百万円が減少したことによるものです。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は375億12百万円で、前連結会計年度末と比べ10億93百万円減少しております。これは主として、利益剰余金8億73百万円、自己株式8億85百万円が増加し、その他有価証券評価差額金が8億91百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

タイ王国での大規模洪水による被害額及び当社業績への影響は損害保険等が付されていること及び被害の詳細は引き続き確認作業を行っていることから、現段階で合理的に算定することが困難であるため、平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月12日公表の業績予想を据え置くことといたします。

今後業績への重大な影響が見込まれる場合には、速やかに開示してまいります。また、今後の復旧予定に関しては平成24年1月24日に別途開示しております「タイの洪水に関するお知らせ(第2報)」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,903	8,074
受取手形及び売掛金	20,593	22,761
商品及び製品	5,736	<u>6,978</u>
仕掛品	1,211	<u>1,412</u>
原材料及び貯蔵品	1,463	<u>1,621</u>
その他	1,538	<u>1,207</u>
貸倒引当金	△24	△25
流動資産合計	<u>40,421</u>	<u>42,030</u>
固定資産		
有形固定資産	15,710	14,956
無形固定資産	383	313
投資その他の資産		
投資有価証券	10,645	8,704
その他	803	871
貸倒引当金	△22	△23
投資その他の資産合計	<u>11,426</u>	<u>9,553</u>
固定資産合計	<u>27,520</u>	<u>24,823</u>
資産合計	<u>67,941</u>	<u>66,854</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,607	17,278
1年内償還予定の社債	—	1,500
短期借入金	1,056	1,009
1年内返済予定の長期借入金	—	1,000
未払法人税等	471	418
賞与引当金	739	373
その他	3,325	3,023
流動負債合計	21,199	24,603
固定負債		
社債	1,500	—
長期借入金	1,000	—
退職給付引当金	3,215	3,473
その他	2,420	1,265
固定負債合計	8,135	4,738
負債合計	29,335	29,341
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,047	13,047
資本剰余金	422	422
利益剰余金	23,961	24,834
自己株式	△1,424	△2,310
株主資本合計	36,006	35,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,204	2,312
繰延ヘッジ損益	10	△3
為替換算調整勘定	△614	△790
その他の包括利益累計額合計	2,600	1,518
純資産合計	38,606	37,512
負債純資産合計	67,941	66,854

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	50,891	51,870
売上原価	37,903	39,878
売上総利益	12,987	11,991
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	2,355	2,299
その他の販売費	2,165	2,102
給料及び賞与	2,346	2,236
賞与引当金繰入額	387	348
退職給付引当金繰入額	117	121
貸倒引当金繰入額	—	3
その他の一般管理費	2,524	2,455
販売費及び一般管理費合計	9,898	9,568
営業利益	3,089	2,423
営業外収益		
受取利息	10	7
受取配当金	271	303
不動産賃貸料	306	362
負ののれん償却額	10	—
その他	117	153
営業外収益合計	716	826
営業外費用		
支払利息	50	47
不動産賃貸費用	136	125
為替差損	497	213
その他	51	59
営業外費用合計	736	445
経常利益	3,069	2,804
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	3	40
貸倒引当金戻入額	19	—
特別利益合計	22	40
特別損失		
固定資産除却損	59	5
減損損失	—	26
投資有価証券売却損	—	21
災害による損失	—	12
環境対策費	—	44
特別損失合計	59	111
税金等調整前四半期純利益	3,033	2,733
法人税、住民税及び事業税	875	708
法人税等調整額	208	351
法人税等合計	1,084	1,060
少数株主損益調整前四半期純利益	1,948	1,673
四半期純利益	1,948	1,673

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,948	<u>1,673</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△413	△893
繰延ヘッジ損益	△27	△13
為替換算調整勘定	△177	△175
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	1
その他の包括利益合計	<u>△620</u>	<u>△1,081</u>
四半期包括利益	<u>1,328</u>	<u>591</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,328	<u>591</u>
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	29,507	21,382	50,890	0	50,891	—	50,891
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9	614	624	2,278	2,902	△2,902	—
計	29,517	21,997	51,514	2,278	53,793	△2,902	50,891
セグメント利益又は損失(△)	2,076	2,166	4,242	△4	4,237	△1,148	3,089

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,148百万円には、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,159百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,843	23,026	51,870	0	51,870	—	51,870
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	205	220	2,451	2,672	△2,672	—
計	28,858	23,232	52,090	2,452	54,542	△2,672	51,870
セグメント利益	<u>1,295</u>	2,110	<u>3,406</u>	112	<u>3,519</u>	△1,095	<u>2,423</u>

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,095万円には、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,107百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。